



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ 上場取引所 東  
 コード番号 7327 URL https://www.dhfg.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖粟 道郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人 TEL 025-224-7111  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	143,399	4.1	29,736	19.5	21,221	13.2
2024年3月期第3四半期	137,694	21.9	24,870	16.3	18,739	23.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,460百万円(△95.0%) 2024年3月期第3四半期 49,834百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	242.78	—
2024年3月期第3四半期	208.73	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	10,830,153	492,906	4.5
2024年3月期	11,138,009	499,902	4.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 492,886百万円 2024年3月期 499,883百万円

(注) 1. 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2024年3月期については、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載しております。なお、会計方針の変更の詳細につきましては、添付資料P. 8をご覧ください。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 75.00	円 銭 145.00
2025年3月期	—	112.00	—	—	—
2025年3月期 予想/分割後換算 (予想/分割前換算)	—	—	—	56.00 (112.00)	— (224.00)

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 2. 2024年3月期配当金の内訳

第2四半期末配当金 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

期末配当金 普通配当70円00銭、記念配当5円00銭

## 3. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2025年3月期(予想)の期末配当金については当該株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計は株式分割の実施により単純合算できないため「—」として記載しております。

なお、株式分割を考慮しない場合の2025年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は112円00銭、年間配当金合計は224円00銭となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,600	15.3	25,000	17.9	286.57

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益の額については、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	91,885,956株	2024年3月期	91,885,956株
2025年3月期3Q	4,649,376株	2024年3月期	4,289,842株
2025年3月期3Q	87,411,159株	2024年3月期3Q	89,775,850株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1 . 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2 . 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

※2025年3月期 第3四半期決算説明資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、物価上昇の影響などから一部に足踏みがみられたものの、各種政策効果等により雇用・所得環境が改善し、設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復となりました。

当社グループの主要な営業基盤である新潟県内の経済につきましても、原材料価格等の上昇により、一部で弱い動きがみられたものの、全体として緩やかに持ち直しの動きがみられました。

このような環境のもと、第三次中期経営計画（2024年4月～2027年3月）では、取り巻く経営環境を踏まえた当社の最重要経営課題として、環境・社会からの視点による「環境・社会課題」及び当社の財務の視点による「財務的課題」を設定しております。

このうち、「財務的課題」は「収益力の強化」、「生産性の向上」、「健全性の維持・向上」の3点、「環境・社会課題」は、E（Environment：環境）、S（Social：社会）、G（Governance：ガバナンス）の各分野で具体的な課題を特定し、これらの実現に向けて、下表の4つの基本戦略と全戦略共通のテーマとして「TSUBASAアライアンス\*の深化」を掲げ、グループ一体となって各種施策に取り組んでまいりました。

※第四北越銀行を含む地方銀行10行による広域連携の枠組み

<最重要経営課題>

環境・社会課題		財務的課題	
E	地球環境問題への積極的な取り組み	(成長性)	収益力の強化
S	地域・お客さまの課題解決を通じた地域経済・社会の活性化	(効率性)	生産性の向上
G	多様性の確保などガバナンスの充実によるステークホルダーとの信頼関係の強化	(健全性)	健全性の維持・向上

<基本戦略>

基本戦略Ⅰ	グループ総合力の発揮	基本戦略Ⅲ	人的資本価値の向上
基本戦略Ⅱ	生産性向上の追求	基本戦略Ⅳ	リスクマネジメントの深化
(全戦略共通のテーマ) TSUBASAアライアンスの深化			

その結果、当第3四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことを主因に資金運用収益が増加したことなどから前年同期比57億5百万円増加し、1,433億99百万円となりました。

経常費用は、外貨調達コストが増加したことを主因に資金調達費用が増加したことなどから前年同期比8億40百万円増加し、1,136億63百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比48億65百万円増加し、297億36百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比24億82百万円増加し、212億21百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

#### ・銀行業

経常収益は、前年同期比58億58百万円増加し、1,187億47百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比52億53百万円増加し、259億74百万円となりました。

#### ・リース業

経常収益は、前年同期比5億90百万円増加し、160億98百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比31百万円増加し、7億74百万円となりました。

#### ・証券業

経常収益は、前年同期比3億35百万円増加し、40億41百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比2億54百万円増加し、16億25百万円となりました。

#### ・その他

経常収益は、前年同期比4億39百万円増加し、165億1百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比7億23百万円増加し、99億54百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,078億円減少し、10兆8,301億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比69億円減少し、4,929億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,036億円減少し、8兆3,950億円となりました。譲渡性預金は前連結会計年度末比446億円減少し、1,621億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比778億円増加し、5兆5,082億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比1,938億円減少し、2兆8,782億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想値につきましては、2024年11月8日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,230,849	2,082,583
買入金銭債権	17,106	12,211
商品有価証券	2,452	2,263
金銭の信託	4,966	4,955
有価証券	3,072,041	2,878,206
貸出金	5,430,402	5,508,294
外国為替	29,802	25,787
その他資産	256,040	227,153
有形固定資産	55,948	53,935
無形固定資産	8,893	7,210
退職給付に係る資産	35,779	36,836
繰延税金資産	2,216	2,457
支払承諾見返	21,078	20,375
貸倒引当金	△29,569	△32,117
資産の部合計	11,138,009	10,830,153
<b>負債の部</b>		
預金	8,498,683	8,395,065
譲渡性預金	206,769	162,146
売現先勘定	202,184	174,794
債券貸借取引受入担保金	375,528	400,924
借入金	1,167,666	999,166
外国為替	385	2,063
信託勘定借	14,813	18,584
その他負債	124,318	147,007
賞与引当金	2,565	234
役員賞与引当金	148	—
株式報酬引当金	774	884
退職給付に係る負債	760	761
役員退職慰労引当金	47	49
睡眠預金払戻損失引当金	1,058	865
偶発損失引当金	1,935	1,729
債務保証損失引当金	2	—
固定資産解体費用引当金	1,026	1,026
特別法上の引当金	24	28
繰延税金負債	13,534	6,798
再評価に係る繰延税金負債	4,800	4,739
支払承諾	21,078	20,375
負債の部合計	10,638,106	10,337,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,980	102,981
利益剰余金	309,972	322,973
自己株式	△7,638	△8,736
株主資本合計	435,315	447,218
その他有価証券評価差額金	12,026	△18,926
繰延ヘッジ損益	29,163	42,599
土地再評価差額金	5,562	5,424
退職給付に係る調整累計額	17,815	16,570
その他の包括利益累計額合計	64,568	45,667
非支配株主持分	19	20
純資産の部合計	499,902	492,906
負債及び純資産の部合計	11,138,009	10,830,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	137,694	143,399
資金運用収益	73,966	87,292
(うち貸出金利息)	36,933	40,334
(うち有価証券利息配当金)	29,435	36,751
信託報酬	95	101
役務取引等収益	25,997	26,511
その他業務収益	29,154	25,253
その他経常収益	8,480	4,240
経常費用	112,823	113,663
資金調達費用	24,946	31,655
(うち預金利息)	453	2,771
役務取引等費用	8,086	8,003
その他業務費用	23,866	20,836
営業経費	47,547	46,966
その他経常費用	8,376	6,201
経常利益	24,870	29,736
特別利益	1,512	368
固定資産処分益	60	368
段階取得に係る差益	109	—
負ののれん発生益	1,343	—
特別損失	443	275
固定資産処分損	159	187
減損損失	94	83
金融商品取引責任準備金繰入額	1	4
退職給付費用	187	—
税金等調整前四半期純利益	25,939	29,829
法人税、住民税及び事業税	6,487	7,498
法人税等調整額	713	1,107
法人税等合計	7,200	8,606
四半期純利益	18,738	21,222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,739	21,221



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	18,738	21,222
その他の包括利益	31,096	△18,762
その他有価証券評価差額金	15,156	△30,953
繰延ヘッジ損益	16,215	13,435
退職給付に係る調整額	△275	△1,244
四半期包括利益	49,834	2,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,835	2,459
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更）

（税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用）

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

上記に伴い、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合に係る税効果の取扱いについて、当該子会社株式等を売却した企業の財務諸表において、当該売却損益に係る一時差異に対して繰延税金資産又は繰延税金負債が計上されているときは、従来、連結決算手続上、当該一時差異に係る繰延税金資産又は繰延税金負債の額は修正しないこととしておりましたが、当該一時差異に係る繰延税金資産又は繰延税金負債を取り崩す取扱いに変更しております。

当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。この結果、当該会計基準の遡及適用前と比べて、前連結会計年度の繰延税金資産が155百万円増加、繰延税金負債が370百万円減少、利益剰余金が526百万円増加しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	112,445	15,222	3,669	131,336	6,236	137,573	120	137,694
セグメント間の内部経常収益	443	285	36	765	9,825	10,591	△10,591	—
計	112,888	15,508	3,706	132,102	16,062	148,164	△10,470	137,694
セグメント利益	20,720	742	1,371	22,834	9,231	32,065	△7,195	24,870

- （注）
1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
  2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
  3. 外部顧客に対する経常収益の調整額120百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額22百万円等を含んでおります。
  4. セグメント利益の調整額△7,195百万円は、セグメント間取引消去等であります。
  5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

「その他」セグメントにおいて、2023年4月3日付で株式会社第四北越ITソリューションズ（2023年4月3日付で株式会社エヌ・シー・エスより商号変更）を連結子会社化したことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,343百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	118,189	15,820	4,017	138,026	5,866	143,892	△493	143,399
セグメント間の内部経常収益	557	277	24	860	10,634	11,495	△11,495	—
計	118,747	16,098	4,041	138,886	16,501	155,388	△11,988	143,399
セグメント利益	25,974	774	1,625	28,374	9,954	38,328	△8,592	29,736

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△493百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△379百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△8,592百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	5,330百万円	5,309百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2025年3月期 第3四半期決算説明資料



【 目 次 】

1. 損益の状況	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	1
	(2) 第四北越銀行 単体	2
2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	3
	(2) 第四北越銀行 単体	3
3. 有価証券の評価損益 (繰延ヘッジ考慮後)	(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結	4
	(2) 第四北越銀行 単体	4
4. 預金等、貸出金残高	第四北越銀行 単体	4
5. 投資信託・公共債等預かり資産残高	第四北越銀行 単体	5

- (注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 前年同期比、2023年12月末比欄の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。
3. 自己資本比率につきましては、現在算出中につき、確定次第開示致します。

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

○連結粗利益は、前年同期比63億円増益の786億円となりました。  
 その他業務利益は8億円減益となりましたが、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことを主因に資金利益が66億円増益となったほか、役務取引等利益も6億円増益となりました。

○経常利益は、前年同期比48億円増益の297億円となりました。  
 株式等関係損益は11億円減少し、貸倒償却引当費用は11億円増加しましたが、連結粗利益の増益に加え、営業経費は5億円減少しました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比24億円増益の212億円となりました。  
 特別損益は、前年同期に子会社再編による負ののれん発生益等14億円を特別利益に計上したことを主因に9億円減少し、法人税等の税金関係費用は14億円増加しました。  
 なお、負ののれん発生益等を除く親会社株主に帰属する四半期純利益は39億円増益となりました。

(単位:百万円)

		2025年3月期		2024年3月期	(参考) 2024年3月期
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	
連結粗利益	1	78,664	6,351	72,313	97,189
資金利益	2	55,638	6,619	49,019	64,268
役務取引等利益	3	18,609	604	18,005	25,407
その他業務利益	4	4,416	△872	5,288	7,514
営業経費(△)	5	46,966	△581	47,547	63,338
貸倒償却引当費用(△)	6	5,675	1,144	4,531	7,246
貸出金償却(△)	7	817	△1,761	2,578	3,094
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	4,489	3,108	1,381	2,903
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△171	△102	△69	371
延滞債権等売却損(△)	10	35	△15	50	212
その他(△)	11	503	△87	590	665
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—	—
償却債権取立益	13	619	160	459	752
株式等関係損益	14	1,689	△1,108	2,797	2,502
その他	15	1,403	24	1,379	1,010
経常利益	【356億円】16	29,736	4,866	24,870	30,868
特別損益	17	93	△976	1,069	△1,110
固定資産処分損益	18	180	279	△99	△302
負ののれん発生益	19	—	△1,343	1,343	1,343
段階取得に係る差益	20	—	△109	109	109
その他	21	△87	196	△283	△2,260
税金等調整前四半期(当期)純利益	22	29,829	3,890	25,939	29,758
法人税、住民税及び事業税(△)	23	7,498	1,011	6,487	9,198
法人税等調整額(△)	24	1,107	394	713	△644
四半期(当期)純利益	25	21,222	2,484	18,738	21,204
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は四半期(当期)純損失(△)	26	1	1	△0	1
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益【250億円】	27	21,221	2,482	18,739	21,203
除く負ののれん発生益等 27-19-20	28	21,221	3,935	17,286	19,751

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 【 】は2025年3月期予想値(2024年11月8日修正公表値)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	29	30,261	5,660	24,601	33,342
--------	----	--------	-------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(2) 第四北越銀行 単体

○コア業務粗利益は、前年同期比51億円増益の728億円となりました。

- ・資金利益は、外貨調達コストが増加した一方、貸出金利息が貸出金平残の増加および貸出金利回りの上昇により増加したほか、有価証券利息配当金が利回り上昇などにより増加したことを主因に、前年同期比65億円増益の552億円となりました。
- ・役務取引等利益は、投資信託や保険窓口販売などの資産運用アドバイス収益が増加したことを主因に前年同期比3億円増益の112億円となりました。
- ・その他業務利益（除く国債等債券損益）は、市場運用部門による債券・通貨デリバティブ収益の減少を主因に前年同期比17億円減益の62億円となりました。

○コア業務純益は、前年同期比46億円増益の288億円となりました。

- ・経費は、人件費を中心に4億円増加しました。

○経常利益は、前年同期比52億円増益の259億円となりました。

- ・株式等関係損益は10億円減少し、ネット信用コストが7億円増加しましたが、国債等債券損益が8億円、その他の臨時損益が15億円それぞれ増加しました。

○四半期純利益は、前年同期比41億円増益の186億円となりました。

(単位:百万円)

		2025年3月期		2024年3月期	(参考) 2024年3月期
		第3四半期	前年同期比	第3四半期	
業務粗利益	1	69,564	5,933	63,631	85,251
(コア業務粗利益)	2	(72,837)	(5,125)	(67,712)	(90,926)
資金利益	3	55,283	6,533	48,750	64,011
うち投資信託解約損益	4	2,478	1,601	877	1,066
役務取引等利益	5	11,262	309	10,953	15,653
その他業務利益	6	3,018	△910	3,928	5,586
うち国債等債券損益	7	△3,273	807	△4,080	△5,674
経費（除く臨時処理分）(△)	8	44,009	469	43,540	57,753
うち人件費(△)	9	22,927	443	22,484	30,094
うち物件費(△)	10	18,506	201	18,305	24,066
実質業務純益	11	25,555	5,464	20,091	27,498
(コア業務純益)	12	【331億円】	(4,657)	(24,171)	(33,172)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	(26,349)	(3,055)	(23,294)	(32,105)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	14	△271	△71	△200	261
業務純益	15	25,827	5,535	20,292	27,236
(金銭の信託運用見合費用)(△)	16	(1)	(1)	(0)	(0)
臨時損益	17	149	△279	428	△1,818
不良債権処理額(△)②	18	4,894	1,012	3,882	6,253
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	19	(4,622)	(941)	(3,681)	(6,514)
貸倒引当金戻入益	20	—	—	—	—
偶発損失引当金戻入益	21	203	70	133	—
償却債権取立益	22	616	162	454	746
株式等関係損益	23	1,418	△1,090	2,508	2,744
その他の臨時損益	24	2,805	1,592	1,213	943
経常利益	25	【305億円】	5,254	20,720	25,417
特別損益	26	97	465	△368	△2,634
うち固定資産処分損益	27	178	269	△91	△294
うち減損損失(△)	28	81	△8	89	1,262
うち退職給付費用(△)	29	—	△187	187	187
税引前四半期(当期)純利益	30	26,071	5,719	20,352	22,783
法人税、住民税及び事業税(△)	31	6,228	1,051	5,177	7,260
法人税等調整額(△)	32	1,228	543	685	△539
四半期(当期)純利益	33	【214億円】	4,126	14,488	16,062

(参考)

ネット信用コスト(△)	14+18-20-21-22	34	3,803	710	3,093	5,767
-------------	----------------	----	-------	-----	-------	-------

- (注) 1. コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益  
 2. 実質業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 3. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（除く臨時処理分）  
 4. 【 】は2025年3月期予想値（2024年11月8日修正公表値）

2. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

○不良債権額は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比15億円減少し1,220億円、第四北越銀行単体で前年同期末比19億円減少し1,205億円となりました。  
 ○不良債権比率は、第四北越フィナンシャルグループ連結で前年同期末比0.07ポイント低下の2.17%、第四北越銀行単体で前年同期末比0.08ポイント低下の2.13%となりました。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

	2024年12月末	2023年12月末比	2023年12月末	(参考) 2024年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	68	△ 15	83
危険債権	1,098	△ 10	1,108	1,114
要管理債権	53	10	43	50
三月以上延滞債権額	14	7	7	9
貸出条件緩和債権額	39	4	35	41
小計 (A)	1,220	△ 15	1,235	1,248
正常債権	54,984	1,243	53,741	54,274
債権額合計 (B)	56,205	1,228	54,977	55,523
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.17%	△ 0.07%	2.24%	2.24%

(2) 第四北越銀行 単体

	2024年12月末	2023年12月末比	2023年12月末	(参考) 2024年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	△ 16	72
危険債権	1,094	△ 14	1,108	1,112
要管理債権	53	10	43	50
三月以上延滞債権額	14	7	7	9
貸出条件緩和債権額	39	4	35	41
小計 (A)	1,205	△ 19	1,224	1,238
正常債権	55,328	1,329	53,999	54,531
債権額合計 (B)	56,533	1,309	55,224	55,770
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.13%	△ 0.08%	2.21%	2.22%



### 3. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

○好調な株式市況を背景に、株式の評価損益が改善したことから、第四北越フィナンシャルグループ連結での有価証券の評価損益は340億円の含み益、第四北越銀行単体での有価証券の評価損益は328億円の含み益となりました。

#### (1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2024年12月末				2023年12月末				(参考) 2024年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,392	△18	—	18	706	4	4	0	1,230	1	3	1
その他有価証券	27,282	359	1,926	1,566	26,656	188	1,202	1,014	29,387	598	1,801	1,203
株式	2,129	1,033	1,042	9	1,787	791	800	9	2,172	1,103	1,106	3
債券※	13,816	△450	140	591	13,805	△232	95	328	14,321	△282	94	377
その他	11,336	△223	742	966	11,063	△370	306	676	12,893	△223	599	822
うち外国証券※	6,996	△220	515	735	6,885	△231	216	447	7,119	△224	372	597
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	28,674	340	1,926	1,585	27,363	192	1,207	1,015	30,617	599	1,804	1,204

#### (2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2024年12月末				2023年12月末				(参考) 2024年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益			貸借対照表 計上額	評価損益		
		評価益	評価損			評価益	評価損			評価益	評価損	
満期保有目的	1,392	△18	—	18	706	4	4	0	1,230	1	3	1
その他有価証券	27,098	347	1,914	1,566	26,490	204	1,215	1,010	29,190	576	1,780	1,203
株式	1,946	1,020	1,028	8	1,622	802	806	3	1,975	1,077	1,079	2
債券※	13,816	△445	140	586	13,805	△225	98	323	14,321	△276	96	372
その他	11,336	△227	744	972	11,063	△372	310	683	12,893	△225	604	829
うち外国証券※	6,996	△220	515	736	6,885	△232	216	449	7,119	△225	372	598
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	28,491	328	1,914	1,585	27,197	209	1,220	1,011	30,421	577	1,783	1,205

※債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

### 4. 預金等、貸出金残高

#### 第四北越銀行 単体

○貸出金の期末残高は、前年同期末比1,484億円増加し、5兆5,411億円となりました。  
 ・県内事業性貸出残高は、実質無利子融資の繰り上げ返済の継続などを主因に減少したものの、県外事業性貸出残高は、大企業向けや新種貸出等が増加したことから、事業性貸出全体では前年同期末比増加しました。  
 ・消費性貸出は、非対面チャネルの活用などにより、お客さまの利便性向上に積極的に取り組んだ結果、前年同期末比増加しました。  
 ○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期末比435億円増加し、8兆6,042億円となりました。

(単位:億円)

	2024年12月末		2023年12月末	2023年12月末	(参考) 2024年3月末
		2023年12月末比			
貸出金残高	55,411	1,484	53,927		54,551
県内事業性貸出残高	17,059	△224	17,283		17,098
うち中小企業向け貸出残高	13,937	△362	14,299		14,056
県外事業性貸出残高	16,357	2,217	14,140		14,775
うち中小企業向け貸出残高	5,863	323	5,540		5,779
消費性貸出残高	15,120	348	14,772		14,877
公金貸出残高	6,873	△858	7,731		7,800
預金等残高	86,042	435	85,607		87,459
うち県内預金等残高	84,250	482	83,768		85,619
うち個人預金等残高	58,153	566	57,587		57,171

(注) 預金等残高=預金+譲渡性預金

5. 投資信託・公共債等預かり資産残高

第四北越銀行 単体

○預かり資産残高は前年同期末比1,222億円増加し、1兆421億円となりました。  
 投資信託は242億円、公共債は19億円、保険は961億円それぞれ増加しました。

(単位:億円)

	2024年12月末	2023年12月末比	2023年12月末	(参考) 2024年3月末
	預かり資産残高	10,421	1,222	9,199
投資信託	2,015	242	1,773	1,944
公共債	707	19	688	690
保険	7,698	961	6,737	7,043
(参考) 第四北越証券	5,167	678	4,489	5,044

以 上